光和小
携帯サイト

光和

１２月号
練馬区立光和小学校
令和５年１１月３０日

学校行事から学ぶ

校 長　矢島　直行

早いもので令和５年も残り１か月となりました。師走とも言われます１２月は、何かと慌ただしくなります。このようなときにこそ落ち着いて行動していきたいものです。

先日開催されました展覧会には、大勢の方にご参観いただきありがとうございました。「ようこそ、想像の広場へ」のテーマ通りに、全校児童一人一人の想像力を発揮した作品が体育館や旧パソコン室、家庭科室、１階廊下を埋め尽くし、光和小学校が美術館に変身しました。子供たちは、自分の頑張ったところや友達のよいところを見付けるなどしながら鑑賞しました。展覧会を通して子供たちがもつ感性が磨かれるとともに、新しいものを創り出す楽しさを体感することができたように思います。子供たちは展覧会という行事から多くのことを学ぶことができました。行事から学ぶということでは運動会でも同じです。運動会を通して努力することと友達と協力し合うことの大切さを学びました。

２学期の大きな学校行事として展覧会や運動会の他に、５年生の岩井移動教室もありました。峻険な鋸山を登ったり岩井海岸では雄大な海の景色を見ながら散策したり、鴨川シーワールドでは班行動で海の生き物を間近に見学したり、マザー牧場ではシープショーを見学し動物に触れ合ったりと、日頃の学校では味わえない体験と自然に触れ合うことができました。また、宿舎の生活では自分の係に責任をもつこと、集団生活では守らなければならないルールがあること、相手を思いやり感謝の気持ちをもつこと等、３日間の生活を通して学ぶことができました。

学校の中で一番多くの時間を費やしているのは、国語、算数をはじめとした教科学習の時間です。そこで子供たちは知識を身に付けますが、子供たちは教科の学習だけではなく、学校行事を通して友達関係を築くとともに、計画的に取り組むこと、自己の役割分担に責任をもつことなどを学びます。そして、やり遂げたときの大きな達成感の積み重ねが自信となり、子供たちの成長につながっていきます。

今後学校行事は、限られた時間の中でできるように精選し、これまでの内容を変更していくこともありますが、子供たちにとって充実したものになるように努めていきます。

さて、１２月はこの一年を振り返る時期です。学校でも令和５年度の教育活動を教職員が振り返る時期（学校評価）となります。これまでの教育活動や行事など、成果と課題を振り返り、次年度の教育活動につなげていきます。また、学校だけではなく、保護者、地域とコミュニティ・スクール導入委員会の皆様、子供たちからの学校評価（アンケート）も生かし、学校と保護者、地域の皆様と連携しながら教育活動をさらに充実したものにしていきたいと考えています。子供たちの教育活動をよりよくするために、保護者と地域の皆様の学校評価（アンケート）のご協力をよろしくお願いいたします。学校評価の集計結果につきましては、報告書及びホームページにて皆様にお知らせいたします。

これから寒くなりますが、子供たちが健康に十分気を付け、充実した学校生活を送れるように努めてまいります。